## 早くも動き出した

北海道では、6月22日に「北海道IT経営応援隊」 を発足。北海道経済産業局を中心に道内情報 化を促進する21機関が協力。各機関の政策連 携を通じて、戦略的かつ効果的なIT利活用の先 進的地域を目指す。北海道の応援隊隊長には、 NTTドコモ前会長の大星公二氏が就任し、運動 の輪を広げていく予定である。

6月28日には早速「北海道IT経営応援隊キッ クオフセミナー」が開催され、セミナーおよび交流 会に200人ほどの関係者が集まった。

北海道経済産業局地域経済部情報政策課 の直江健二氏は、「北海道では、地域経済の活 性化を目指し、情報産業クラスターフォーラムなど が中心になってITの利活用で道内企業を支援す る動きが進んでいました。ちょうど、IT経営応援隊 の考え方とも合っており動きも速かったと言えます。 北海道IT経営応援隊としてまとまった今後は、さら に精力的に動いていきます」と意欲を見せる。

そのためには、企業側の要請を待つのではなく 応援隊が企業の現状・ニーズの掘り起こしに歩く そうだ。今までにない「ある種の攻撃モード」で動 くとのことで、どんな活動が繰り広げられるのか、注

> IT経営応援隊の セミナーにちょんという、てみるか



業やITコーディネータ組 らせチラシなどに注意し いる。 織によって各種提供されて

ホ

ムペ

ージやお

て 知

各地で出会った企業の成

・にも役立つものが多い 民間企業による無料の

## 〈状況に応じて選べる入口(例)〉

IT活用について 経営の悩みにアドバイスが欲しい 何が問題かわからない アドバイスがほしい 工場の業務改善したい つければいいのたろ 庫管理が システムが合い

中小企業基盤整備 機構 IT推進アドバイザー

派遣

窓口は東京及び 全国8力所

都道府県等、また ITコーディネータ は地域の中小企業 (各地域の組織等) 支援センター

専門家派遣制度 · 各種相談

全国各地で 開催

・**IT経営応援隊事業** セミナー、教科書、 事例

·ITSSP地域事業

と説明する。

ションでき

その他公約機関の

ンター

務も

多くの地域に

研修会等

営応援隊副会長を務 されるように社外 でも常時接続でコミ の眞柄泰利執行役常 めるマイクロソフト 変化が訪れている との関係性に大きな つまり取引先や顧客 なら世界のどこと ネットに象徴

窓口は東京及び

窓口は各地域に

化だった。

のITは社内の効率 タ協会の下 現在はイ

ネット」である。 であるI 典専務理事は「過去 経営応援隊の事務局 Ť ・ディ

> 援隊の目的なのである。 な形で支援していくのが

ただ、

関 や I 力を結集することで、隅々までサ らばらだった関係者の連携を強化 実際のプレイヤー Tベンダーだ。 は中 「いままでば 小企業支援機

んでいる。 強化していく計画とのことだ。 局を核にしながら地域ごとの活動を ビスを行き届かせ支援の質を高めて ことを目指している。 いく」(前出の経済産業省野口正氏) 先行して関係機関の連携が進 今後は各地方の経済産業 すでに北海道

そこで、 を開く機関・サービスにはどの なものがあるのかを、 経営者に 経営応援隊のプ 一改革

であり、 は関係ない」と力説する。 る。これは垂直統合型産業への挑戦

変化の象徴はインターネット

もはや市場競争に企業規模 こうした情報 社会の

化に気づき、 行動に移すこと-自社の戦略を見つめ直 これを様々

により

**応援すること」である。情報** 

その

 $\overset{\textstyle \sqcap}{\overset{\textstyle \Gamma}{\overset{}}}$ 

の象徴として多く

のは

小企業の経営改革を工

T経営応援隊の事業が目指すも

一経営者

ここにある

発見の機会と相談

(D)

通信の急激な進歩により、

今や経営

関係者が挙げるのが「ブロ

インター

とITは密接な関係にあるとの認識

い機関が設立されるわけではない 「応援隊」といっても新 **T経営応** 〈企業経営者を応援します!〉







っかけ作り」 企業の事情に合わせて「IT化の 営者の生の声に耳を傾け、 を回り無料セミナ ン」と題して専用ト 年から 例えばマイ 02年からは「<br />
IT体験キャラバ 「IT実践塾」、そして2 を提供してきた。 0) ロソフトでは「全国 一環として20 ・を開催。 i 1 ゥ -で全国 地元経 き

「自社の状況が客観的につかめ

情報を集めたい!

会社をどうしたい

のか

まずは経営戦略を

やる気のある経営者を全力で支援します!

ピックアップしてご紹介しよう。

IT経営応援隊 副会長 マイクロソフト 執行役常務 眞柄泰利 氏

提唱してきました。

まず、

経営戦略

気のある経営者の方に具体的な手段 き」の機会を提供することと、

方法を提示す

ることの二面から行

いただこうというものです

国の支援

中小企業金融公庫の特別貸付

ませんので、

どう活用するかを是非

は入れることが目的ではあ

修会に足を運 セミナーや研

んでみよう。

えていただきたい

自社事業の発展

きで必要な部分に

などの融資、

の補助金事業が

活用型経営革新モデル - 下投資促進税制など

真剣に取り組む経営者の皆様には

事業で「戦略的」情報化投資促進を

経済産業省はこれまでも

支援活動は、

経営者の方に「気づ

やる

企業は、

まず

勉強をしたい

情報収集・

情報化人材室 室長野口 正氏

企業支援に関わってこられた団体の皆

民間企業も含め

年6月に正式発足した

-経営応

「ITを取り

巻く社会情勢の

変

も同じ考え方に則っています

半年にわたる準備会を経て20

様の力、

経営改革支援の効果をさらに

まだ具体的に方向性が見えない企業 セスやITの役割を知りたい」など、 化がわからない」「経営改革のプロ

多くのITベンダーは中 小企業向けの製品は儲か らないと、きちんとした 対応をしてこなかったの ではないでしょうか。IT を売る側も努力を怠って はいけないと考えます。

歩を踏み出そうとする社長を ことで多くのものを得た。 企業の方々や支援機関と知り合えた マイクロソ を持つ強みを活かし、 ト眞柄氏は 全国にパ 「各地の 第一

で研修できるものを選んだ方がよい

こういった機会は地方自治体、

小企業支援センタ

ー等の公的機

SSPの地域事

者の体験談を聞いたり、

経営者同士

その際は経営

力に胸を張る。 場主義」を貫いて得た情報力と支援 営応援隊として支援したい」と、 現

7 COMPASS 2004.夏号

2年間で100本になる見込み。

オはIT経営応援隊事業として開

功事例をビデオ化

その数は

管改革事